

スポーツ MICE 研究部会（第 5 回）

日 時：9 月 3 日（木）13：30～15：30

会 場：JSC B 棟プロジェクトルーム

出席者

〔研究員〕 清宮浩一、澤崎宏、福井昌平（部会長） 増田豊仁、
守屋慎一郎、師岡文男

〔オブザーバー〕 梶原貞幸、小松史郎、澤内隆
高村素志（筑波大学院 H27 卒・社員）

〔事務室〕 内田なお子、加藤淑子、小林政則（事務室長）



資料：・スポーツ MICE 研究部会の推進概要

- ・スポーツ MICE 構想（工藤）
- ・研究会の今後の作業における考え方試案（清宮）
- ・スマートウエルネスコミュニティ協議会（師岡）
- ・パンフレット改訂版
- ・研究大会開催概要、会場図面

おもな議題

- ・これまでの研究会の成果のまとめ方について
- ・今後の研究アプローチの方向と内容の確認
- ・総会および研究大会について（事務室）

おもな内容

■これまでの研究会の成果のまとめ方について（福井部会長）

資料：スポーツ MICE 研究部会の推進概要にて、研究部会の主要テーマや研究アプローチ、今後の進め方等を説明。

〔意見交換〕

- ・IOC が推奨している「スポーツラボ」をもっと表に出してはどうか。文科省が推進しているスポーツ文化ワールドフォーラムも注目するべきだと思う。各省庁が協力して健康づくりを考えるスマートウエルネスコミュニティ協議会も立ち上がっているのを参考にしていきたい。国が進める地方創生に関するテーマもどこかで取り上げる必要がある。（師岡）
- ・イベントプログラム研究部会では、スタジアムだけでなく周辺エリアを含めた発想で具体的なプログラムを提言したいと考えている。MICE という言葉は我々には分かりやすいが、一般の人が理解できるかどうか気になっている。（梶原）
- ・新国立競技場の計画が簡素化の方向に決定したことで、この研究会からのソフトの提言がさらに重要になっている。外苑エリアや青山通りまでを視野にスポーツカフェ等の提言もできると思う。この提言は新国立競技場に止まらず全国に発信する価値がある。（澤内）
- ・子ども達の体力低下が問題視される中で、市民が気軽にスポーツに触れられるようなスポーツコミュニティを目指したい。（濱口）
- ・スポーツ MICE の価値を日本全国や世界と議論し、その拠点を各都市に創設することでスポーツ MICE のネットワーク化と各種情報の共有化を図り、総本山を新国立競技場に設置することを提案したい。（清宮）
- ・国も医療費削減を促す健康に関する施策でなければ、予算が付かないような状況になっている。

国民がスポーツをする場所としてスタジアムやその周辺を開放して自由に使えるような発想が必要。

(師岡)

- ・新国立競技場は建設費ばかりが批判されているが、周辺エリアを含めて将来的な活用方法や収益の上げ方などが語られていなかった。その部分も提案してゆきたい。(増田)
- ・MICE というのは様々な施設が集積している複合都市で行われる。神宮外苑を含むエリアのシンボル施設として新国立競技場があり、様々なスポーツを行う施設を集積していくことでスポーツ MICE が実現すると考える。(澤崎)
- ・スタジアムという施設がこれまで活用されていなかった部分を活かせることが、スポーツ MICE の真価と感じている。オリンピックアジェンダやスポーツ庁の動きなどの潮流をみると「グローバル」「コミュニティ」「ハード」のキーワードで整理できる。(守屋)
- ・オリンピックアジェンダ 2020 に書かれていることが全然周知されていない。それをわれわれの提言に盛り込むのが効果的だ。(福井)

■今後の研究アプローチの方向と内容の確認 (福井部会長)

- ・2020 年を契機に豊かなスポーツコミュニティを形成するために、いかにスポーツ MICE が有効であるかを立証しながら、新国立競技場と周辺エリアのスポーツパーク構想を取り入れ、世界に誇れるような提言としたい。
- ・萩座長から、象徴となるような具体的なハードとソフト提案を示して欲しいとの要望があるので、新国立競技場に対する提言としたいと考える。

今後の役割分担について

- 提言の文章のとりまとめ→清宮、守屋
- 外構部分や競技施設内部の仮設空間の活用等に関する研究→増田、澤崎
- ソフトの誘致や活動の整理→福井、師岡

■その他

- ・9月10日に発行する「月刊体育施設」に、新国立競技場の基本方針に対する提言をまとめた記事を掲載した。我々の活動を何かの形で社会に知らせたいと考えてもう一度記事を掲載する。アスリートファーストは当然だが、21世紀のスタジアムは観客にとっても快適なものであるべきだ。(小松)
- ・建設に関する提言は避けたいと考えている。この研究部会からはスポーツ MICE を実現するために付加すべき施設や機能という形で提言する。もう一つ、仮設の力を強く打ち出したいと考えている。(福井)
- ・次のコンセッション研究部会の9月30日(水)18:00から早稲田大学の間野義之教授をお呼びしている。良い機会なので皆さんにも参加していただきたい。(小松)

■総会および研究大会について (事務室)

- ・総会(9月9日)と研究大会(10月20日)の概要説明。
- ・2015年度の提言書の作成に際して1つの研究部会に対し制作費として20万円の予算を予定。